2022年度　日本工学院専門学校

建築学科

スポーツ実習１

対象	１年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	瀧川　慧			実務経験	有	職種	建築設計／一級建築士				

担当教員紹介

ゼネコンにて、医療施設・商業施設・集合住宅等の意匠設計業務に従事したのち、大学での助手を経て教師になる。建築設計やBIMを担当し、VR・AR等様々な最新技術を取り入れた教育を実践する。

授業概要

この授業では、様々なスポーツの実習を行う。心身を開放し各自の運動能力を充分に発揮するとともに、仲間とのチームプレイを通じて、コミュニケーション能力やマナーを身につけ、就活に対するスキルを高めることを目指す。互いに安全に気を付け、他者を思いやる気持ちを育みカバーし合うことは、建築の仕事の現場では大変重要な要素となることを体験的に理解する。

到達目標

この科目では、学生が日常の勉学から離れ、のびのびと体を動かして運動し、健康な心身を育むことを目標とする。また、社会に出てから活動するために必要なコミュニケーション能力や、仲間と力を合わせて目的を達成していくチームプレイの精神を育むことを目標とする。各自が自分の長所と短所、他者の長所と短所を補い合い、社会や組織で協働することの重要性を理解することなどができるようになることを目標にしている。

授業方法

目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。

成績評価方法

プレイ	70%	各スポーツにおけるプレイ内容を評価する
出席状況	20%	時間を守り授業の取り組み度合いを評価する
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

履修上の注意

この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。スポーツへの不参加や無気力な受講態度などには厳しく対応する。怪我のないように充分注意してプレイする。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーでスポーツに参加することを求める。授業時数の４分の３以上出席しない者は不合格とする。

教科書教材

必要な道具等は授業中に指示する。

回数	授業計画
第1回	卓球　：　体育館にて「卓球」の基礎トレーニング・試合　□
第2回	ドッジボール ： 体育館にて「ドッジボール」の基礎トレーニング・試合
第3回	バスケットボール ： 体育館にて「バスケットボール」の基礎トレーニング・試合
第4回	フットサル　： 体育館にて「フットサル」の基礎トレーニング・試合